

令和3年度 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策事業の進捗状況一覧

資料2-1

基本目標 1 役割・しごとづくり (誰もが活躍できる役割・しごとをつくる)	数値目標	基準値 2019(令和元)年	目標値 2024(令和6)年
	地域で「たつせがある」と思う人の割合	33.4%	50.0%

基本的方向	施策・事業名	事業概要	KPI(重要業績評価指標)	実績値 (令和2年度)	目標値 (令和2年度)	達成率	令和2年度の活動結果	達成できなかった理由 (令和2年度の目標値に対し、実績の達成率が100%未満の場合のみ記入)
ア 市民の力を活かした新しい役割分担の仕組みをつくる	1 ながくて地域スマイルポイント事業	市民活動参加のきっかけづくりのため、市民活動に参加した人に対してポイントを付与し、貯まったポイントを、交換品に換えることができる事業を行います。	ながくて地域スマイルポイント交換者数【単年】	454人	450人	101%	・市内福祉事業所におけるボランティア、市主催行事等への参加及び市民団体が自主的に実施する奉仕活動に対してポイントを付与し、貯まったポイントを図書カード等への交換を行った。	-
	2 まちづくり活動補助事業	市民が日常生活の中で気がついたことや地域の課題を、市と協働して解決する取組を応援する「まちづくり活動補助事業」を行います。	協働まちづくり活動補助団体【単年】	0団体	9団体	0%	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業を中止した。	事業を中止したため。
	3 まちづくりセンター機能強化事業	市民活動団体の活動拠点として、まちづくりセンターの運営体制を強化します。	まちづくりセンターの運営を考える会開催回数【単年】	1回	4回	25%	オンラインによる交流会を実施し、コロナ禍での活動を考えた。 ・市民及び市民活動団体向けにオンライン活用講座を実施し、コロナ禍での市民活動の促進を行った。 ・引き続きまちセンコーディネーター(相談員)を配置した。	新型コロナウイルスの影響により、対面での交流会がすべて中止となったため、開催回数が減少した。
	4 学生まちづくり活動支援事業	市内4大学および周辺大学と連携し、大学の持つ知的財産や人材、学生の持つ若い力を生かすための仕組みづくりに取り組み、学生のまちづくり活動を支援します。	大学連携事業(継続事業)実施件数【単年】	16件	28件	57%	・各課で各大学等の特色を活かした事業を実施した。また、コロナ禍の中でも実施できる方法を検討し、オンラインを活用した事業もあった。	新型コロナウイルス感染症の影響で、中止する事業があったため。
イ 「農ある暮らし」で好循環をつくる	5 アグリサポートセンター事業	アグリサポートセンターを設立し、農地のマッチング等、様々な人が行う農に関わる取組を応援します。	アグリサポートセンターの設立	未設立	(令和6年度までに設立)	-	・農協及びあぐりん村の各担当者と農地のマッチング事業の試行について協議した。	-
	6 農福連携事業	農業を活用した障がいのある人の雇用機会の拡大や、人手不足による耕作放棄地の有効活用のため、農福連携に取り組みます。	農作業に携わった障がいのある人の人数【単年】	38人	29人	131%	ながふく障がい者プランを策定し、農地の有効活用や農業従事者への啓発等について、計画に位置付けた。	-
	7 あぐりん村再整備事業	あぐりん村(田園バレー交流施設)の新たな魅力を創出するため、売り場の拡大や充実等の再整備を行います。	あぐりん村再整備施設数【単年】	1施設	1施設	100%	・増築棟新築が完了した。	-
ウ 民間活力をまちづくりに活かす	8 住民起業支援塾事業	地域の課題を市民が主体となって解決するため、ビジネスの手法を活用し、仕事として報酬を得ながら事業を持続的に継続する「コミュニティビジネス」の起業に必要な知識を学ぶ講座を行います。令和3年度より商工会の実施している創業事業の支援強化に伴い、事業を商工会へ移管します。	起業者数【累計】	8人	7人	114%	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、起業を考える人が少ないと想定し、オンラインによるタイムマネジメントセミナーを実施した。	-
	9 女性活躍推進事業	女性が活躍でき、男女がともに仕事と家庭の両立した生活を送ることができる環境づくりのため、理解促進・啓発事業を行います。	女性活躍推進に係る出前講座開催回数【単年】	1回	2回	50%	・北小学校5年生を対象に出前講座を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、各クラス(5クラス)ごとに実施した。	新型コロナウイルス感染症の影響で、実施希望が少なかった。
	10 市民・民間・行政のプラットフォーム形成事業	市民、民間企業、行政で今後の連携のきっかけになるようなネットワークづくりを推進し、行政にはない市民や民間事業者の知見や活力、資源をまちづくりに生かし地域課題を解決する公民連携に取り組みます。	市民・民間・行政のプラットフォームで取り組む地域課題数【累計】	0つ	(令和6年度までに1つ)	-	新型コロナウイルスの影響により、市民や民間企業との対話が困難であり、ネットワークづくりの推進の取組は停滞しているが、令和2年9月には大塚製薬株式会社と「健康づくり」「災害時における協力」に関する協定を締結した。	-

基本目標 2 子育て支援 (子どもを通して家族と地域の輪が広がるまちをつくる)	数値目標	基準値 2012(平成24)年	実績値 2021(令和3)年	目標値 2024(令和6)年
	合計特殊出生率	1.55	1.67	1.6
	数値目標	基準値 2019(令和元)年	目標値 2024(令和6)年	
	安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思う人の割合	58.8%	65%	

基本的方向	施策・事業名	事業概要	KPI(重要業績評価指標)	実績値 (令和2年度)	目標値 (令和2年度)	達成率	令和2年度の活動結果	達成できなかった理由 (令和2年度の目標値に対し、実績の達成率が100%未満の場合のみ記入)
ア 子育てしやすい環境の整備	11 子ども預かり事業	保護者の就労形態や生活スタイルが多様化するなか、子育てできる環境を整備するため、子ども預かり事業を行います。	子ども預かり事業延べ利用者数【単年】	696人	1000人	70%	子育て中の保護者を対象に医療機関・健診の受診や短時間の就労及び買い物等の間、育児から離れる時間を確保することを目的に高齢者生きがいセンター1階作業室を改修し、「子どもの預かり室ことりルームぴっぴ」を市の子育て支援センター事業として、令和2年10月に開始。	コロナ禍での開所で、利用控えや周知不足があり10月11月は預かり児童が見込みより少なかったため。
	12 女性活躍推進事業(再掲)	女性が活躍でき、男女がともに仕事と家庭の両立した生活を送ることができる環境づくりのため、理解促進・啓発事業を行います。	女性活躍推進に係る出前講座開催回数【単年】	1回	2回	50%	・北小学校5年生を対象に出前講座を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、各クラス(5クラス)ごとに実施した。	新型コロナウイルス感染症の影響で、実施希望が少なかった。
イ 地域で支え合う子育て支援	13 保育園児童館等地域交流事業	若者から高齢者までの幅広い世代の地域住民が保育園や児童館等の環境整備や行事にボランティアとして関わることで、子どもたちとの交流を推進します。	保育園児童館等地域交流事業登録者数【単年】	121人	130人	93%	・保育園のおさんぽの付き添いや、保育用品の作成など延べ1,141人が参加した。 ・清掃や草取りなどの環境整備、行事や遊びのサポートなど延べ21人が参加した。	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、新たな参加者を誘うことが困難であったため。
	14 子どもチャレンジ事業	子どもが抱いた「夢」や「学習」等に対して、子ども自ら課題を見つけ、達成する過程で主体性を育成する取組を行います。	子どもチャレンジ事業取組人数【単年】	未実施	実施	0%	・新型コロナウイルス感染症の影響により、事業中止。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、サポーターや協力事業所の安全確保、保護者の不安が解消できないことから事業を中止した。

基本目標 3 地域コミュニティ・地域福祉 (地域のつながりを構築し、元気に安心して暮らせるまちをつくる)	数値目標	基準値 2019(令和元)年	目標値 2024(令和6)年
	地域活動や行事にスタッフとして参加したことがある人の割合	18.9%	35.0%
	数値目標	基準値 2015(平成27)年	目標値 2024(令和6)年
	健康寿命	男性 80.2歳 女性 85.0歳	延伸

基本的方向	施策・事業名	事業概要	KPI(重要業績評価指標)	実績値 (令和2年度)	目標値 (令和2年度)	達成率	令和2年度の活動結果	達成できなかった理由 (令和2年度の目標値に対し、実績の達成率が100%未満の場合のみ記入)
市民が支え合う コミュニティをつくる	15 まちづくり協議会設立運営支援事業	自治会をはじめ、子ども会やシニアクラブ、企業、機能別のNPO、各種活動団体等の団体をネットワーク化したまちづくり協議会を北小学校区に設立し、設立準備会を南小学校区に設立することを目指します。また、長久手小学校区、東小学校区についても、まちづくり協議会設立に向けての支援を行います。	まちづくり協議会設置数【累計】	2 団体	2 団体	100%	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、西小学校区及び市が洞小学校区での運営会議は中止した。 ・特別定額給付金(新型コロナウイルス感染症緊急経済対策)の申請を促すため、西小学校区ではチラシの全戸配付、北小学校区では地域の店舗へ情報発信を行った。 ・地域共生ステーションでは来訪された方へまちづくりに関する情報発信を行った。	-
	16 多文化共生社会事業	外国人市民のニーズや国際情勢、本市における多文化共生の実態を把握し、外国人市民が地域の一員として活躍・生活することができるよう、多文化共生の地域づくりや国際交流意識の醸成に取り組めます。	多文化共生促進事業実施回数【単年】	0 回	(令和6年度までに7回) ※令和2年度は目標値0回	-	・令和3年2月に多文化共生推進プラン策定を策定した。策定過程では、策定委員会(3回開催、延べ28人出席)及びあいち多文化共生タウンミーティングinながくて(ワークショップ、計41人参加)を開催した。	-
	17 国際交流協会支援事業	多文化共生の地域づくりや国際理解・交流の促進に取り組むため、長久手市国際交流協会への支援と連携を行います。	国際交流協会が実施する多文化共生推進事業への参加者数【単年】	967 人	2,850 人	34%	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、オンラインを活用したイベントや日本語教室を開催した。 ・リモテラス実証実験ビニャータで交流、自宅と世界がつながるオンラインチャレンジ!!、協会PRチラシ作成、協会ホームページリニューアル、日本語教室(木曜日・土曜日 各月3~4回)、英語絵本読み聞かせ等を実施した。	・新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の休止や中止があり、参加者数が減少した。
	18 防災士育成事業	地域防災を担う人材育成のため、防災士資格取得費用の助成を行うことで資格取得を促進します。	防災士資格取得の助成件数【単年】	3 件	15 件	20%	・市広報紙、市ホームページ及びチラシ等による制度の周知を行い、防災士助成を3人に実施した。	新型コロナウイルス感染症により、資格取得の条件となる講習会が一部中止されたため。
	19 自主防災活動支援事業	地域の自主防災活動の活性化のため、自主防災組織が開催する防災講習会や防災資機材の貸与等の活動支援を行います。	自主防災倉庫設置数【累計】	57 地区	56 地区	102%	・新たに設立した2地区の自主防災組織に対し、自主防災倉庫の設置及び資機材の貸与を行った。	-
イ 市民の健康寿命を延ばす	20 公共交通ネットワーク構築事業	長久手市地域公共交通会議を開催し、交通事業者、行政、市民が連携しながら、地域公共交通の確保・維持及び活性化を図り、地域にふさわしい公共交通の構築します。	市内公共交通の利用者数【単年】	2,337 千人	5,313 千人	44%	・公共交通の利用促進事業として、市民有志による「公共交通応援隊キッズイベントグループ」主催の公共交通交流会を実施した。 ・第2次長久手市地域公共交通網形成計画に基づき、長久手市公共交通マップの更新を行った。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、外出を自粛する方が増えたことにより、公共交通利用者が減った。

資料2-4

基本目標 4 観光交流 (地域の魅力を活かし、賑わい・活気・交流をつくる)	数値目標	基準値 2019(平成30)年	実績値 2020(令和元)年	目標値 2024(令和6)年
	観光交流者数	約340万人	約303万人	約370万人
	数値目標	基準値 2019(令和元)年	目標値 2024(令和6)年	
	地域における自慢すべき「宝」があると思う人の割合	42.7%	50.0%	

基本的方向	施策・事業名	事業概要	KPI(重要業績評価指標)	実績値 (令和2年度)	目標値 (令和2年度)	達成率	令和2年度の活動結果	達成できなかった理由 (令和2年度の目標値に対し、実績の達成率が100%未満の場合のみ記入)
地域資源を活かした長久手の魅力とオリジナリティを創造・発信する	21 観光交流協会支援事業	長久手市観光交流協会が行う、観光PRやイベント実施、交流の場の創出、新たな地域資源の発掘等、長久手市ならではの魅力的な観光交流まちづくりの実現のために必要な事業を支援します。	観光交流協会新規事業の実施件数【累計】	3件	4件	75%	・(一社)長久手市観光交流協会が主体となって新規事業として、観光交流センターを開所するともにも、藤が丘商店街振興組合との連携及び市内周遊観光商品開発の検討をした。	新型コロナウイルス感染症の影響で、予定のイベントが実施できなかった。
	22 アートのまちフェスティバル事業	文化の家をはじめとする各施設、ギャラリー等市内全域で行われるアートの祭典を、市民やアーティスト・大学等とのパートナーシップで運営します。	アートフェスティバル来場者数【単年】	475人	18,700人	3%	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、ながくてアートフェスティバルは中止し、展示会として創造スタッフによる「創造博」に留めた。	新型コロナウイルス感染症の影響により、催事を中止したため
	23 長久手版プレーパーク整備事業	子どもが用意されたプログラムの中で体験活動をするのではなく、子ども自身の意思と自由な発想のもとで遊ぶことができる里山を整備します。	長久手版プレーパーク整備箇所数【累計】	0箇所	(令和6年度までに1箇所)	—	・プレーパークの周知と実施者発掘のため、8月20日にてんぼくプレーパーク(名古屋市)を見学、11月15日に第2回講演会を実施した。	—
	24 古民家活用事業(現:歴史民俗体験施設整備事業)	子どもが用意されたプログラムの中で体験活動をするのではなく、子ども自身の意思と自由な発想のもとで遊ぶことができる里山を整備します。	復元する古民家の棟数【累計】	0棟	(令和6年度までに1棟)	—	事業の進め方について再検討を行った。 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、古民家に関するイベントは中止した。 ・古民家については、国登録有形文化財の登録を目指していましたが、文化財として移築する際には、登録時と同じ建物を移築先で復元する必要があり、多額の費用が必要となります。そのため、国登録有形文化財の登録をしないこととしました。また、保存活用計画の作成もしないこととしました。(令和元年度)	—
人が集まり情報の受発信が行われる交流の場の創造	25 リリモテラスにぎわい創出事業	「リリモテラス公益施設(仮称)」をはじめリリモ長久手古戦場駅北側のリリモテラスにおいて、市民の新たなつながりをつくるために、市民が主体となってにぎわいを創出する事業を行います。	リリモテラスイベント実施回数【単年】	4回	12回	33%	・公益施設開館に向けて事業運営を考えるワークショップを2回開催し、延べ25名が参加した。 ・これまでリリモテラス建設に関わってきた団体等が担い手となって、実証実験イベントを開催し、300名が参加した。 ・リリモテラス上棟イベントを開催し、150名が参加した。	新型コロナウイルス感染症の影響で、予定のイベントが実施できなかった。